

平成22年度

(第2/3回)

(集団研修)

農村開発のための
畑地帯における農業基盤整備

実施要領

平成22年5月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 背景・目的	1
3. 上位目標	2
4. 案件目標	2
5. 単元目標	2
6. 研修成果品	2
7. 研修員参加資格要件	3
8. 研修実施体制	3
9. 研修の評価	4
10. 研修付帯プログラム	5
11. 主な宿泊場所	6
12. その他	6

参考資料

付表－1 研修員関連情報

付表－2 研修日程およびカリキュラム（案）

付表－3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(集団研修) 農村開発のための畑地帯における農業基盤整備

英文：Group Training Program on “Agricultural Infrastructure Improvement in the Fields for Rural Development”

(2) 受入期間

平成 22 年 5 月 16 日 (日) ～ 8 月 7 日 (土)

(3) 技術研修期間

平成 22 年 5 月 24 日 (月) ～ 8 月 6 日 (金)

(4) 定員、割当国

定 員：10 名 (受入数 10 名)

割当国：フィリピン、カンボジア、ミャンマー、タイ、マラウイ、スリランカ、ウクライナ

(5) 研修類型：人材育成普及型

(6) 使用言語：英語

2. 背景・目的

途上国での農業生産性が低い主な要因の一つが、農業基盤の未整備である。土壌が肥沃であってもインフラが未整備であるがために、灌漑地の拡大や排水不良地の農地転用が進んでいない。また、傾斜地における土壌保全を考慮しない作付栽培により、農地の非効率的な利用と土壌浸食を引き起こす問題も発生している。整備事業に着手したとしても、計画や設計、施工管理の段階で専門知識や環境社会配慮が十分でなかった結果、計画通りに通水しない水路、利用されない農業用ため池、工期の遅れ、割高な工費などの問題が生じている。

本案件では、利害関係者や環境に配慮した工事計画、設計における技術選択、施工管理や品質管理における手法についての専門知識が、農業基盤整備事業実施機関の部署の技師により共有されることを目的としている。

3. 上位目標

農業基盤整備事業実施機関の計画立案および設計、施工管理能力が向上する。

4. 案件目標

事業計画および施工管理に関する専門的知識が、農業基盤整備事業実施機関の部署の技師により共有される。

5. 単元目標

- (1) 農業基盤整備事業における法制度、計画策定までのプロセス、事業の実施体制、環境配慮等について、自国の課題を特定できる。
- (2) 技術レベル・経済性・環境社会配慮の観点から基盤整備事業の妥当性を判断できる。
- (3) 農業基盤整備事業における代表的な工法および汎用性が高い専門的知識・技術を説明できる。
- (4) 施工管理や安全対策に係る専門的知識・技術を説明できる。

6. 研修成果品

ア) 本邦研修実施前

「初期計画書 (Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる研修員および所属組織の課題やそれに対する現在の組織としての対策・枠組みをまとめ、本邦でのコース開始時に発表する。

イ) 本邦研修終了時

「中間計画書 (Interim Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に単元目標(3)にかかる活動計画(案)を作成し、コース終盤に発表する。

ウ) 帰国後の事後活動

「最終計画書 (Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間計画書に書かれた活動計画（案）を所属組織に報告、関係者と共有のうえ、最終的な活動計画をまとめ、帰国後3ヶ月以内にJICA帯広に提出する。JICA帯広は同計画書を関係者と共有のうえ、次年度以降に実施される研修に内容をフィードバックし、必要に応じフォローアップを検討する。

7. 研修員参加資格要件

募集要項記載条件

- ア. 畑作農業に関わる農業基盤整備（灌漑排水、農地整備、農地防災）の調査計画、設計、あるいは施工管理、設計管理の経験がある主任技術者。
- イ. 上記分野で3年以上の実務経験を有する者。
- ウ. 50歳未満の者。

各案件共通資格要件

- ア. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること。
- イ. 大学卒業あるいは同等の学力を有すること。
- ウ. TOEFL iBT 72点（CBT 200点／PBT 533点）以上に相当する英語能力を有すること。
- エ. 心身ともに健康なこと。
- オ. 軍に属していないこと。

8. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構帯広国際センター（JICA帯広）が計画するコースの実施に関する業務を社団法人北方圏センター（NRC）に委託し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中、財団法人日本国際協力センター（JICE）所属の研修監理員を配置する。具体的業務分担は次のとおり。

(1) JICA帯広

- ア. 実施計画書作成（案件目的、案件目標、研修期間等）
- イ. 評価

ウ. 実施予算の執行管理

エ. 募集要項および実施要領等の作成 等

(2) 社団法人北方圏センター

ア. 日程表の調整・作成

イ. 講師、視察先等への連絡・確認

ウ. テキスト、資料等の手配 等

(3) コースリーダー

研修の計画、実施、評価の全般にわたる助言 等

(4) 研修監理員

ア. 関係者間の連絡調整

イ. 通訳・翻訳 等

9. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標（1頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に単元目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による案件目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICAによる評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員の帰国後に、評価結果に基づき JICA 帯広、コースリーダー、講師、社団法人北

方圏センター等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

10. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に帯広国際センター（以下 OBIC: Obihiro International Center）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

OBIC で実施し、日本の社会と日本人、歴史・文化、政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として10時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程（予定）

日 程	内 容
5月17日（月）	ブリーフィング
18日（火） 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の社会と日本人」 講義「日本の経済」
19日（水） 午前 午後	ジェネラルオリエンテーション 講義「日本の教育」 講義「日本の政治・行政」「日本の歴史・文化」
20日（木）	日本語講習
21日（金）	日本語講習

11. 主な宿泊場所

帯広国際センター（OBIC）

所在地：〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2

Tel (0155) 35-2001 Fax (0155) 35-2213

12. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

(3) 国際理解教育

国際理解教育の支援のため、本コースに地域の小中学校や住民との交流プログラムが一部含まれている。



独立行政法人国際協力機構 帯広国際センター
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp

研修員関連情報

研修員情報(英語力はリスニング/スピーキング/読解/記述能力の順に4段階で示す。A:優、B:良、C:可、D:自信なし)

No	①氏名②研修員番号 ③年齢④性別 ⑤国名	①現職②現職期間 ③最終学歴(専攻) ④英語力⑤研修経験	①候補者の業務内容 ②所属先の業務内容	研修で学びたい事項
1	① Mr. MAO Rath ② D-10-00523 ③ 38 ④ 男 ⑤ カンボジア	① 水資源気象省 技術局 職員 ② 15年 ③ 王立農業大学(農業管理) ④ BBBB ⑤ JICA筑波センター(2006年) 「かんがい排水プロジェクトの持続的管理」	①・水田におけるデータ収集 ・水路、ダム、余水吐、カルバート、灌漑システム構造物の調査と設計 ②・省の業務:水資源管理と保全、気象・灌漑システム関連業務 部の業務:灌漑システムの調査・設計・建設	・農業基盤のための現場データ収集 ・メンテナンス ・管理
2	① Mr. NJALAM'MANO John Bright Joseph ② D-10-00736 ③ 31 ④ 男 ⑤ マラウイ	① 灌漑・水開発省 灌漑局 灌漑担当官 ② 5年 ③ Linkoping大学(水資源・生活保障 修士) ④ AAAA ⑤ なし	①・潜在的灌漑箇所を特定するための地形・断面調査 ・灌漑箇所に合致する工学設計 ・灌漑排水構造物建設の監督と促進 ・灌漑に関する研修の実施 ・土地利用と水管理のモニタリング ・灌漑政策ならびに、灌漑システムの管理とメンテナンスに関する助言 ②・多様かつ、経済的に健全で持続的な灌漑排水システムのための水・土地資源開発と管理 ・効果的助言サービスの継続	・河川防災と土壌浸食対策 ・ダムの計画と設計 ・排水と暗渠 ・頭首工の計画と設計 ・圃場灌漑 ・末端灌漑システムの計画と設計 ・コンクリート構造物 ・施工計画と工事費の積算 ・農協組織
3	① Mr. SEMU Andrew Kashitigu ② D-10-00739 ③ 44 ④ 男 ⑤ マラウイ	① 灌漑・水開発省 灌漑局 灌漑担当上級補佐官 ② 1年(現組織には'92年より勤務) ③ 天然資源大学(農業) ④ AAAA ⑤ なし	①・月間・年間業務計画の策定 ・調査とデータ収集 ・灌漑排水システムの運転とメンテナンス ・農家と職員の研修 ②・多様かつ、経済的に健全で持続的な灌漑排水システムのための水・土地資源開発と管理 ・効果的助言サービスの継続	・工事調査の実施と施工計画の理解

4	① Mr. SAW Naing ② D-10-00510 ③ 40 ④ 男 ⑤ ミャンマー	① 農業・灌漑省 灌漑局 水文課 技師補 ② 13年 ③ ヤンゴン工科大学(土木工学) ④ BBBB ⑤ なし	① 灌漑局が実施するプロジェクトに要する水力・気象データの収集と処理 ② 水文課の業務:灌漑局のプロジェクトで利用される水力・気象データの収集・処理・分析・モデリングシミュレーション	「農村開発のための農業基盤整備」の分野で活用され重要な役割を果たす、水文学の分野
5	① Mr. ZAW Win ② D-10-00511 ③ 36 ④ 男 ⑤ ミャンマー	① 農業・灌漑省 灌漑局 計画・工務課 職員 ② 9年 ③ ヤンゴン工科大学(土木工学) ④ BBBB ⑤ なし	① プロジェクトのための施工計画策定 ・プロジェクトの週ごとの進捗状況の文書化 ・事業年度ごとの予算配分 ・海外援助によるプロジェクト提案書作成 ・2009年12月より、JICA「サイクロン ナルギス被災地域における農業生産及び農村緊急復興のための農地保全プロジェクト」のカウンターパートとして業務に当たっている ② 灌漑局の業務: ・治水、農地造成、灌漑排水、特に既存の灌漑施設の運転・メンテナンスと、新たなダム・河川管理プロジェクトの実施 ・正しい作物水分要求量に従って圃場に十分かつ効果的な灌漑を行い、水路損失を最小に留めるための指針提供と監督	「河川災害防止と土壌浸食対策」我が国では河川災害が頻繁に発生する。また、大規模灌漑基盤建設により起こりうる砂漠化と森林伐採に対する対策を講じるために、土壌浸食制御に関する知識と経験の共有が非常に必要とされている
6	① Mr. RANESSES Manuel Laeno ② D-10-00165 ③ 48 ④ 男 ⑤ フィリピン	① 国家灌漑庁 運転管理部 主任技師A ② 1年(現組織には'86年より勤務) ③ ミンダナオ大学(理学士、専攻記載なし) ④ BBBB ⑤ なし	① 現地調査・プロジェクト調査の計画と監督 ・技術データ収集とプロジェクトの妥当性についての提言 ② 国家灌漑庁の業務: 農家受益者に灌漑サービスを提供するための、灌漑施設と付帯施設の建設	・施設の近代的設計 ・最小の建設コスト ・灌漑施設建設方法
7	① Mr. BALASURIYA Loku Balasuriyage Gunasiri Ranjith ② D-10-00591 ③ 41 ④ 男 ⑤ スリランカ	① マハウェリ開発庁 モラガハカンダ事業 常駐技師 ② 3年(現組織には2000年より勤務) ③ ペラデニア大学(土木工学) ④ BCBB ⑤ なし	① 灌漑配水網における灌漑基盤設計と施工管 ② 国内の乾燥地帯における灌漑可能地域への用水供給と新たな農地における農業基盤開発	・新たな貯水池プロジェクトの基盤設計と施工 ・灌漑農業システムにおける考慮事項

8	<ul style="list-style-type: none"> ① Ms. WILBERT Hakmana Kodithuwakkuge Nandakanthi ② D-10-00592 ③ 46 ④ 女 ⑤ スリランカ 	<ul style="list-style-type: none"> ① マハウエリ開発庁 デヒアッタカンディヤシステム C 常駐プロジェクトマネジャー事務所 土木技師 ② 4年(現組織には'97年より勤務) ③ ペラデニア大学(土木工学) ④ BBBB ⑤ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ① ・灌漑排水システムの運転管理と基盤施設の促進 ・農家リーダーに必要な研修を行い、水管理の効率を改善するため必要な行動をとること ・季節的運転計画と維持管理計画の策定 ② ・マハウエリ川の影響を受ける地域において、河川を制御し流域を管理することで農村を豊かにし、経済発展を促進し、人々の生活を改善すること ・作物要求量を満たすタイムリーで効果的灌漑用水の配水を可能にする水管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的灌漑方法 ・農業生産性の向上 ・圃場灌漑開発方法 ・圃場灌漑施設を十全に運用するための近代的調査方法
9	<ul style="list-style-type: none"> ① Mr. SIRION Pongsatorn ② D-10-00743 ③ 44 ④ 男 ⑤ タイ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 王立灌漑局 技術・構造設計事務所 灌漑システム設計6課 課長 ② 7年(現組織には'84年より勤務) ③ ユタ州立大学(農業・灌漑工学、修士) ④ BBBB ⑤ なし 	<ul style="list-style-type: none"> ① ・新たな灌漑事業における灌漑・排水システムの計画・設計 ・既存の灌漑プロジェクトの運転と維持管理の効率を改善するための計画・設計 ・農村部における洪水緩和計画・設計 ② ・各流域の潜在性に沿った水資源開発を行う主たる機関 ・各水利用者への平等且つ持続的な水配分の管理 ・あらゆるレベルにおいて水管理への人々の参画を促進すること ・水害の防止と緩和 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業基盤整備計画作りの技能を高める新たな技術 ・農業基盤整備のための設計に関する新たな知識 ・施工計画・管理に関する技術
10	<ul style="list-style-type: none"> ① Mr. KUDIN Volodymyr ② D-10-00487 ③ 24 ④ 男 ⑤ ウクライナ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 科学生産企業 キエフアグロテックサービス社 土地関係部 農地整備技師 ② 3年(現組織には2006年より勤務) ③ ウクライナ国立食糧技術大学(修士、専攻は記載なし) ④ BBBB ⑤ エジプト国際農業センター(2009年、エジプト)「統合的害虫管理」 	<ul style="list-style-type: none"> ① ・農地調査と土地利用一覧の作成 ・農地整備計画 ・農業資源のモニタリングと予測 ・関係機関との連携と支援提供 ② ・農業基盤開発 ・農家への農業サービス提供 ・土壌・水・肥料・植物・土壌改良材を含む、土地開発に関する研究・分析・調査 ・農家や関係機関への技術移転と知識強化 ・関係機関との連携と支援提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムの計画と設計 ・国営灌漑排水事業 ・畑地灌漑計画 ・農業基盤・農村整備事業 ・土地改良区の概要 ・食糧事情と法体系 ・河川災害防止と土壌浸食制御 ・頭首工の計画と設計 ・農業生産物加工施設

研修日程およびカリキュラム（案）

月日	曜	AM/PM	区分	カリキュラム	担当機関（講師名）	研修場所	宿泊地
5/16	日			来日			
5/17	月	09:30~17:25		フリーフィング	(社) 北方圏センター	帯広国際センター	
5/18	火	09:45~16:50		フリーフィング・オリエンテーション	(社) 北方圏センター	フリーフィングルーム	
5/19	水	09:30~17:40		オリエンテーション	(社) 北方圏センター		
5/20	木	09:30~17:10		日本語研修他	(社) 北方圏センター	帯広国際センター	
5/21	金	09:30~16:00		日本語研修	(社) 北方圏センター	セミナールーム1	
5/22	土			休日			
5/23	日			休日			
5/24	月	10:00~12:00		コースオリエンテーション 行政組織の概要	帯広開発建設部（次長）	帯広国際センター セミナールーム3	
		13:30~16:30		インセプションレポート発表会	(社) 北方圏センター	帯広国際センター セミナールーム4	
5/25	火						
5/26	水	終日	講義 実習	PCM手法	アイ・シー・ネット株式会社 佐阪 剛	帯広国際センター セミナールーム4	
5/27	木						
5/28	金	09:30~16:00	討論	問題分析／目的分析 レポートの説明	JICA帯広		
5/29	土			休日			
5/30	日			休日			
5/31	月	09:30~11:30	講義	十勝農業の概要	十勝総合振興局産業振興部 (農務課長) 宮田 大	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:00	講義	食糧事情と法体系	帯広開発建設部（対策官） 西野 広幸		
6/1	火	09:30~11:30	講義	農協組織	十勝農協連 専務理事 佐藤 文俊	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察		農協連施設	視察先	
6/2	水	09:30~12:00	講義	十勝の農業農村整備事業	帯広開発建設部 (農業整備課長) 永野 匡彦	帯広国際センター セミナールーム4	帯広
		13:30~16:00	講義	営農計画と事業効果	帯広開発建設部 (農業調査専門官) 荒木 宏範		
6/3	木	09:30~11:30	講義	十勝の道路整備	帯広開発建設部（道路計画課長） 近藤 勝俊	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:00~16:30	視察			視察先	
6/4	金	09:30~12:00	講義	十勝の気象と農業水文	(財) 日本気象協会 北海道支社 (帯広支店長) 丸谷 聖一	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:00	講義	土地改良区の概要	十勝総合振興局産業振興部 (調整課指導企画係長) 谷島 健一		
6/5	土			休日			
6/6	日			休日			
6/7	月	09:30~12:00	討論	レポート作成作業	JICA帯広	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	討論	レポート作成指導1（問題／目的分析に対する発表と質疑）	帯広開発建設部、すけっと百人会		
6/8	火	09:30~11:30	講義	道営等農業農村整備事業の内容	十勝総合振興局産業振興部 (整備課長) 坂部 浩明	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察			視察先	
6/9	水	09:30~11:30	講義	農地防災事業	帯広開発建設部 (帯広農業事務所長) 館石 和秋	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察			視察先	
6/10	木	09:30~11:30	講義	十勝の河川整備	帯広開発建設部（治水課長） 辻 珠希	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察			視察先	
6/11	金	09:30~16:00	実習	PD法1回目（説明と切り貼り）	JICA帯広	帯広国際センター セミナールーム4	
6/12	土			休日			
6/13	日			移動：帯広→富良野			富良野
6/14	月	終日	視察	畑地かんがい施設	旭川開発建設部	富良野→旭川	旭川
6/15	火	10:30~12:00	視察	深川土地改良区	深川土地改良区	深川土地改良区	
6/16	水	09:30~15:30	講義 実習	コンクリート材料とコンクリートの取扱い	共和コンクリート工業㈱ 技術研究所	共和コンクリート工業㈱ 技術研究所	札幌
6/17	木			移動：札幌→帯広			
6/18	金			学校訪問	十勝インターナショナル協会		
6/19	土			休日			
6/20	日			休日			
6/21	月	09:30~16:00	実習	PD法2回目（写真貼付と説明文作成）	JICA帯広	帯広国際センター セミナールーム4	
6/22	火	09:30~16:00	実習	PD法3回目（製本と発表）	JICA帯広		
6/23	水	09:30~11:30	実習	十勝の土壌（Ⅰ）（概論）	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 ㈱ズコーシャ総合科学研究所 丹羽 勝久、廣永 行亮	㈱テクノファーム帯広八千代牧場	
		13:00~16:00	実習				
6/24	木	09:30~11:30	講義	十勝の土壌（Ⅱ）（水分特性）	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 ㈱ズコーシャ総合科学研究所 丹羽 勝久、廣永 行亮	帯広国際センター セミナールーム4	帯広
		13:00~16:00	講義				
6/25	金	09:30~11:30	講義	十勝の保安林と治山対策	十勝総合振興局 産業振興部（林務課長） 工藤 森生	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察				
6/26	土			休日			
6/27	日			休日			
6/28	月	09:30~11:30	講義	国営農地再編整備事業	帯広開発建設部 (鹿追地域農業開発事業所長) 古川 啓介	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:00~16:00	視察				

6/29	火	09:30~11:30	講義	農用地開発事業	NPOすけっと百人会 鈴木 一弘		
		13:00~16:30	視察				
6/30	水	09:30~11:30	講義	農道整備事業	NPOすけっと百人会 寺端 弘勝	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察				
7/1	木	09:30~12:00	講義	排水路と暗渠排水	NPOすけっと百人会 藤原 正之		
		13:30~16:00	視察				
7/2	金	09:30~11:30	講義	かんがい排水事業	帯広開発建設部 (十勝南部農業開発事業所長) 熊谷 匡弘		
		13:00~16:00	視察				
7/3	土			休日			
7/4	日			休日			
7/5	月	09:30~11:30	講義	畑地かんがい	帯広開発建設部 (鹿追地域農業開発事業所長) 古川 啓介		帯広
		13:00~16:00	視察				
7/6	火	09:30~11:30	講義	畑地かんがい 末端施設計画と設計	NPOすけっと百人会 青沼 時雄		
		13:00~16:00	視察				
7/7	火	09:30~11:30	講義	ダムの計画と設計	帯広開発建設部 (帯広農業事務所長) 館石 和秋	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察				
7/8	水	09:30~11:30	講義	頭首工の計画と設計	NPOすけっと百人会 小杉山 賢		
		13:00~16:30	視察				
7/9	金	09:30~12:00	講義	人工衛星による農業への活用	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 ㈱ズコーシャ総合科学研究所 米山		
		13:30~		愛知用水DVD (45分) 他			
7/10	土			休日			
7/11	日			休日			
7/12	月			移動: 帯広→神戸			
7/13	火	10:30~12:00	視察	近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所東播用水		近畿農政局加古川水系広域 農業水利施設総合管理所東 播用水	神戸
		13:00~16:00		東播用水土地改良区		東播用水土地改良区	
7/14	水			移動: 神戸→名古屋			
7/15	木	10:00~16:00	視察	愛知用水土地改良区		愛知用水土地改良区	名古屋
7/16	金			移動: 名古屋→帯広			
7/17	土			休日			
7/18	日			休日			
7/19	月			祝日			
7/20	火	09:30~12:00	討論	レポート作成作業	JICA帯広		
		13:30~16:30	討論	レポート作成指導2 (サマリーシートを用いたアクションプランの発表と指導)	帯広開発建設部、すけっと百人会、 金森専門員		
7/21	水	9:30~10:30	講義	技術の選択と代替案の紹介			
		10:30~12:00	講義	積算とバーチャート	JICA金森専門員	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:00	講義				
7/22	木	09:30~12:00	講義	家畜糞尿によるバイオガスプラントの事例	NPOすけっと百人会 宮崎 健次		
		13:30~16:00	講義	パイプラインの計画と設計1			
7/23	金	09:30~11:30	講義	パイプラインの計画と設計2	NPOすけっと百人会 宮崎 健次		
		13:00~16:00	視察				
7/24	土			休日			
7/25	日			休日			
7/26	月	09:30~12:00	講義 実習	土木材料の特性と活用	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 ㈱ズコーシャ総合科学研究所 井上 誠司、藤崎 浩孝	㈱ズコーシャ 総合科学研 究所 土質試験室	
		13:00~15:30					
7/27	火	09:30~11:30	講義	設計のための地盤調査	NPOすけっと百人会 夏伐 一夫 ㈱ズコーシャ総合科学研究所 高橋 宣之、久保 直樹	㈱ズコーシャ 総合科学研 究所 土質試験室	
		13:30~16:30	実習				
7/28	水	09:30~11:30	講義	工事の施工計画と安全対策	NPOすけっと百人会 岩城 勝義		
		13:30~16:30	視察				
7/29	木	09:30~11:30	講義	出来高管理、品質管理	NPOすけっと百人会 小笠原 武	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:00~16:30	視察				
7/30	金	09:30~11:30	講義	事業実施と環境 (生態系含む) 対策	NPOすけっと百人会 荒金 章次 ㈱ズコーシャ環境評価センター 堤 公宏		帯広
		13:00~16:30	視察				
7/31	土			休日			
8/1	日			休日			
8/2	月	09:30~12:00	講義	(独法) 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター芽室研究拠点 研究調整役豊田政一、業務第3科長吉川亮、研究員岩田幸良・大津英子		北海道農業研究センター芽室研究拠点	
		13:30~16:00	講義 視察	農業試験研究機関と農業機械			
8/3	火	09:30~12:00	講義	広域的連携	財団法人 十勝圏振興機構 (事務局長) 中田 信次	財団法人 十勝圏振興機構	
		14:00~16:00	視察	農産物加工施設	カルビーポテト(株)	カルビーポテト(株) 帯広工場	
8/4	水	09:30~11:30	講義	開かれた農村とファームイン	十勝総合振興局産業振興部 (農務課農業支援係長) 行天 真人	帯広国際センター セミナールーム4	
		13:30~16:30	視察			視察先	
8/5	木	09:30~12:00		インテリムレポート発表会リハーサル	JICA帯広	帯広国際センター オリエンテーションルーム	
8/6	金	09:15~09:45		市長表敬	帯広市親善交流課	帯広市役所	
		11:00~12:00		評価会	JICA帯広	帯広国際センター 会議室	
		13:30~16:30		インテリムレポート発表会	(社) 北方圏センター	帯広国際センター オリエンテーションルーム	
		16:30~17:00		閉講式	JICA帯広	帯広国際センター セミナールーム4	
		17:00~17:30		閉講パーティー	JICA帯広	帯広国際センター 会議室	
8/7	土			帰国日			

年度別受入実績表

1. 応募/選定(受入)人数

	21年度	22年度	累計
応募数	8名	15名	23名
受入数	8名	10名	18名

2. 研修員の出身国

○男性 ●女性

国名	21年度	22年度	累計
(アジア地域)			
スリランカ	●○○	○●	5名
ミャンマー	○	○○	3名
フィリピン	○	○	2名
カンボジア	○○	○	3名
タイ		○	1名
(中南米地域)			
ペルー			
(アフリカ地域)			
マラウイ	●	○○	3名
(欧州地域)			
ウクライナ		○	1名
計	5カ国 8名	7カ国 10名	7カ国 18名